

北の縄文文化回廊
に向けたクラブ活動



通 信

第 2 1 号



ビック茅空焼けたよ

目 次

1. はじめに	2
2. 平成30年度活動一覧	2
3. 各活動内容	3
4. 関連活動	7～8

1. はじめに

平成30年度の活動は、会員の皆様のご協力のもと無事終了することができました。私たちは、縄文遺跡群の世界文化遺産登録を願い、活動してまいりました。「北の縄文CLUB」も発足して20年という節目の年に、昨年は北海道地域文化選奨という名誉ある素晴らしい賞をいただきました。これも、ご参加・ご協力して頂いた、CLUB会員の皆様のおかげだと感謝しております。

これからも、より一層CLUB独自の活動や清掃活動・植栽ボランティア活動・他団体や関係機関と協力連携しながら世界文化遺産登録を目指して、活動をしていきたいと思っています。

これからも、さらなる縄文文化の普及活動を行っていきます。以下、平成30年度の活動内容を報告します。

2. 平成30年度 活動一覧

活動日	主な活動	参加人数	活動場所
4月14日	大船遺跡清掃活動	8名	史跡大船遺跡
4月21日	第21回「北の縄文CLUB」総会	10名	南茅部総合センター
7月14日	縄文ポストカードづくり	8名	南茅部総合センター
8月8日	縄文土器づくり	12名	南茅部総合センター
10月13日	野焼き	12名	大船遺跡体験広場
11月3日	CLUB会員研修	10名	八戸市是川縄文遺跡
2月3日	シーニックdeナイト	20名	縄文文化交流センター

(関連活動)

4月29日	シーニックバイウエイ北海道 函館・大沼噴火湾ルート 清掃活動・植栽	縄文文化交流センター
6月9日	南かやべひろめ舟祭り 体験コーナー	臼尻漁港
7月12日	垣ノ島検討委員会	函館市
7月13日	垣ノ島検討委員会	函館市
9月13日	青森・北の縄文文化回廊づくり総会	青森県
9月14日	垣ノ島検討委員会	函館市
9月15日	商工会祭り(勾玉づくり体験)	函館市
10月21日	道議会決起集会参加	札幌市
11月1日	垣ノ島検討委員会	函館市
1月20日	タケプロ打ち合わせ(NHK関連会社)	函館市
2月2日	雪像づくり	縄文文化交流センター
2月3日	縄文祭り(マルシェ他)	縄文文化交流センター
2月16日	渡島総合振興局(蔦屋にて懇親会)	函館市
2月21日	垣ノ島検討委員会	函館市

3. 活動内容

(1) 清掃活動

4月14日(土)、晴天に恵まれて、大船遺跡の清掃活動をしました。今年は馬糞が昨年より少なく、遺跡内には少ししか落ちていませんでした。後で聞いた話ですが、どこかの業者が連れて行ったらしく、馬の数が減ったそうです。そのおかげか少なかった理由がわかりました。遺跡内にはほところどころに春を告げるフクジュソウの花が咲いていて、私たちの心を和ませてくれました。

道路沿いには雪解けとともに飛んできたらしいごみが、袋3個ぐらいありました。最後に皆で分別して持ち帰りました。



春を告げるフクジュソウ



(2) 第21回総会

4月21日(土)、午前10時から、函館市川汲町にある南茅部総合センターを会場として、第21回総会が行なわれました。

総会では、平成30年度の活動や決算についての報告がおこなわれ、出席者のみなさんにご承認をいただきました。続いて新年度の活動計画案や予算案についても、ご承認いただきました。



会長挨拶



意見を交わしています

(3) 縄文ポストカードづくり

7月14日(土)10時、CLUBにとっては初めての試みでした。見本はいくつかあり、竪穴住居や中空土偶、ビビちゃん等ありました。最初はトレーシングペーパーに鉛筆でなぞって、それを彫る板にこすりつけます。するとゴム板に書いたものが写り出されます。その写し出された後を彫刻刀で削っていくのです。やっているうちに夢中になっていきました。一人で2枚も作った会員さんもいました。完成した時は嬉しくて見せ合いました。



ポストカードづくりに挑戦

(3) 縄文土器づくり

8月8日(土)、南茅部総合センターにおいて、土器づくりを行いました。今年はテーマを設けず、自由な発想で土器づくりを行いました。

(4) 縄文土器野焼き

10月13日(土)、大船体験広場にて、土器野焼きをしました。下準備から薪をレーンの近くまで運びました。下焼きをしてから、土器をレーンのそばに並べ、さらに水分を飛ばす作業をして本格的に薪をたくさん入れて本焼きをします。焼き上がりは下の画像です。よく焼きあがりましたが、天候が悪く薪の乾きも悪かったせいか、土器が黒ずみました。無事割れずに焼き上がりました。来年は教訓として、薪をちゃんと乾燥しないといけないと思います。



ビック茅空も一緒に焼きあがりました。

(5) CLUB会員研修

11月3日(土)、北の縄文CLUBの研修で、青森県八戸市の是川遺跡を見学することになりました。これについてご報告します。私達総勢10名は、北海道新幹線の新函館北斗駅に午前7:00までに集合して、7:34の新幹線はやぶさ12号・東京行きに乗車し、八戸駅9:07に到着しました。

そこからタクシーに分乗して、20分ほどで到着したのが八戸市埋蔵文化財センター「是川縄文館」です。是川縄文館は是川遺跡や風張Ⅰ遺跡などの出土品を通し優れた縄文文化の魅力を伝え、遺跡の発掘調査や遺物の保存活用を行う施設です。本館では国宝「合掌土偶」をはじめ、是川遺跡・風張Ⅰ遺跡出土の国重要文化財を中心に展示し、分館では泉山兄弟関係資料などを公開しています。私たちが訪ねた11月3日は常設展示のほか、企画展として「どうぶつと縄文人」が開催され、縄文人はどんな動物を食べ、どのように利用していたのか、また貝塚や低湿地遺跡発掘調査で発見された動物の骨をはじめ、骨角製道具やアクセサリ、動物がデザインされた土器や土製品などから縄文人と動物の関わりなどが紹介されていました。



新幹線の中で



是川縄文館



展示物を観ています

常設展示については、事前をお願いしていたボランティアガイドの方が丁寧に説明してくださいました。ミュージアムは2階の吹き抜けのある展示室でアトリウムから順路に沿って縄文の道、縄文のくらしシアター、縄文の謎、縄文の美、国宝展示室と回りました。縄文の美では、漆の美として是川中居遺跡の出土品で鮮やかな赤色や漆黒といわれる黒色の深い光沢にあり、漆は使い込むほどに美しさが増していくともいわれます。是川縄文人の生活の中には優れた漆芸文化が広がっていたことを想像できます。国宝に指定されている合掌土偶は風張Ⅰ遺跡から出土し、座った状態で

腕を膝の上に置き、正面で手を合わせている形から名づけられました。大きさは、高さ19.8cm・幅14.2cmです。縄文部分と縄文を磨り消した部分のコントラストが装飾効果を高めています。その他の展示は多岐にわたり、あっという間の時間を過ごしました。14:30頃にボランティアガイドさん達にもお礼を言い、帰路につきました。目まぐるしい1日でしたが海峡を挟む文化圏の交流を現代の交通手段とITを活用した連携などに便利な現代を深く感じたところです。

山田由弘

(6) シーニックdeナイト2019 (シーニックバイウエイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート)

平成31年2月3日(日)、函館市縄文文化交流センター周辺にてシーニックdeナイトが開催された。



午後4時からシーニックdeナイトの始まりです。キャンドルを運び込み、道路沿いと交流センターの駐車場横に並べる作業が始まりました。キャンドルを並べる人、その中にローソクを置いていく人とに分かれて準備をしました。交流センターの玄関先には中空土偶の『茅空』の雪像が作られていました。前日に、CLUBのメンバーが完成させました。素敵な雪像が出来上がりました。お疲れさまでした。



4. 関連活動

1. シーニックバイウエイ清掃活動・植栽

毎年恒例のシーニックの日（4月29日）には、清掃と植栽が行われています。長いもので、もう15年目に入ります。北の縄文CLUBは、毎年、春と冬の2度にわたって活動に参加しています。思い起こせば、春には植樹にも参加、冬には大沼公園での冬の祭典「シーニックdeナイト」に参加して、倉庫から氷で作ったキャンドルを運んで道路沿いに並べて行ったり、また運んでは設置したりして参加しました。次の年からは、旧南茅部町の公民館の道路沿いにキャンドルを並べたり、雪像の茅空を作ったりして、賑わっていました。それからずーっと続いております。



センター前が華やかになりました

2. 縄文祭り

2月3日（日）この日は「北海道・北東北の縄文遺跡群」世界文化遺産登録一と題して、南かやべ縄文祭りが開催されました。主催は南かやべ縄文祭り実行委員会で、北の縄文CLUBは後援として参加しました。時間は午前11:15から佐藤一夫氏による特別講演「南かやべ発掘調査の歩み」が行われました。他に縄文ワークショップが行われ組み紐アクセサリーやポストカードづくりなどが行われました。お昼はキッチンカーなどによる、カレーやクレープ、たこ焼きなどがあり、CLUBメンバーたちと一緒に昼食をとりました。13:00からは阿部千春氏による講演「縄文遺跡群の世界遺産登録」、13:30から福田裕二氏による「函館の構成資産の魅力と取り組み」と題した講演が行われました。その次に函館市内で行われた、発掘調査3現場の遺跡報告会などがありました。次にミニコンサートがあり、尾札部中学校で音楽の教師をしていらっしゃる、谷藤英明氏による生歌と演奏は、谷藤有紀さんです。とても心地よく皆さん聞いていました。最後に餅まきがあり、これもまた大盛りあがりでした。今度こそ世界文化遺産登録ですね。



函館市縄文文化交流センター



佐藤一夫氏による講演

ご寄付ありがとうございます

高谷友身さん
波多野信夫さん
松崎光博さん

2019年6月30日 第21号発行
発行 北の縄文CLUB
連絡先 北海道函館市臼尻町 603-1
一般財団法人
道南歴史文化振興財団内
TEL 0138-25-5510
FAX 0138-25-5606